

市立小・中学校、義務教育学校 空調設備運用と夏季休業の短縮

空調設備の運用

夏季の熱中症予防など児童生徒の健康面への配慮と快適な学習環境整備の一環として、市内の市立小・中学校、義務教育学校に空調設備を整備しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、換気に注意しながら運用していきます。

運用期間

6月1日(月)～9月30日(水)

夏季休業期間の短縮

新型コロナウイルス感染症対策として、市立小・中学校、義務教育学校を臨時休業していましたが、児童生徒の学びの機会を保障するため令和2年度の夏季休業期間を下記のとおり短縮します。

夏季休業期間

8月1日(土)～23日(日)

☎学校保健課(空調管理) ☎24-1111

☎学校教育課(夏季休業) ☎24-1111

市役所窓口が多言語音声翻訳機を 導入しました



市役所での各種窓口手続き等において、在住外国人の方々が多言語によるコミュニケーションを図るため、多言語音声翻訳機(10カ国語対応)を導入しました。利用を希望される方は各窓口の職員に気軽にお声掛けください。

設置場所

市役所本庁舎、中央保健福祉センター

対応言語

英語、中国語(簡体字)、韓国語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語、ミャンマー語、ポルトガル語、フランス語、スペイン語

☎国際政策課 ☎24-1111

九州・長崎 I R 基本構想と実施方針(案)を策定しました

本市では新たな雇用の創出や交流人口の拡大を目指し、8つのリーディングプロジェクトの一つとして「特定複合観光施設(I R)誘致」に取り組んでいます。ここでは4月に策定した基本構想と実施方針(案)、今後の想定スケジュールについてお知らせします。

九州・長崎 I R 基本構想

本市と長崎県で組織する I R 推進協議会が策定しました。ハウステンボス地域における特定複合観光施設(I R)の実現に向けて、九州・長崎 I R の基本コンセプトや目指す方向性に加え、ギャンブル依存症対策や治安維持対策等の懸念事項への取り組みなどをまとめています。

九州・長崎特定複合観光施設区域整備実施方針(案)

長崎県が上記基本構想を踏まえ策定しました。I R の設置運営を行う事業者の公募・選定を実施するため、九州・長崎 I R 区域整備の目標と方針、民間事業者の募集と選定に関する事項等を定めています。

※基本構想と実施方針(案)の全体版や概要版は長崎県ホームページでご覧いただけます。

県ホームページには
こちらからどうぞ



今後の想定スケジュール

スケジュール(予定)	内容
令和2年夏ごろ	募集要項等の公表
令和2年冬ごろ	設置運営事業予定者の選定、基本協定の締結
令和2年冬～3年夏	区域整備計画の作成と公聴会等の実施
令和3年春～夏	区域整備計画に係る県・市議会の同意、区域整備計画の国への申請
令和3年冬ごろ	国の区域整備計画の認定
令和4年春～	実施協定の締結
令和4年夏～	土地の引き渡し、工事着工
令和7年～8年ごろ	開業

※全体のスケジュールは6月1日時点の想定です。
※開業予定時期は応募者の提案等によって変更になる場合があります。

☎ I R 推進室 ☎24-1111

国重要文化財「針尾送信所」で多言語解説を始めました

国重要文化財「針尾送信所」の説明板を多言語(10カ国語)で解説するアプリを導入しました。アプリを通して多言語での音声解説と説明をご覧になれます。どうぞご利用ください。

対応言語

日本語、英語、中国語(繁体字)、中国語(簡体字)、韓国語、タイ語、インドネシア/マレー語、ベトナム語、フランス語、ポルトガル語

使い方

- ①スマートフォンやタブレット端末にアプリ「針尾送信所 多言語ガイド」をインストールする
- ②アプリを起動し、「ガイドを受ける」から使用する言語を選択する
- ③針尾送信所の現地説明板(11カ所)にそれぞれ表示している二次元コードを読み取る
- ④選択した言語で音声解説が流れ、画面上には説明文が表示される



iPhone
はこちら



Android
はこちら

☎文化財課 ☎24-1111

精霊流しは「密接」「密集」を避けましょう

ことしの精霊流しは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、精霊船を小型のものにしていただくなど、例年と実施方法が異なりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

精霊流し会場の開設

精霊流しは主催者が呼び掛けて行う行事とは異なり、それぞれのご家族が故人を悼み、弔うための伝統的慣習のため、本市では一部を除き例年通り精霊流し会場を開設します。

日程 8月15日(土)

会場 名切会場(中央公園スポーツ広場)など

※日宇会場(佐世保高専グラウンド横)は開設しません。

※各会場の開設時間などは本紙8月号や市ホームページでお知らせします。

感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスクを着用してください
- ・精霊船は小型(2m未満)のものにしてください
- ・持ち込む人数は原則2人程度としてください
- ・人と人との距離を十分に取り、持ち込み・参拝後は速やかに退場してください
- ・会場や沿道での見物は控えてください

☎環境政策課 ☎31-6520

避難所における新型コロナウイルス感染症対策

近年、全国各地で集中豪雨による被害が多発しており、日頃から非常持ち出し品の用意や洪水ハザードマップ等による自宅周辺の危険箇所の確認など、災害に備えておくことが必要です。また、新型コロナウイルスへの感染を防ぐため、避難所以外の避難先の検討や避難所での感染症対策などにご協力をお願いします。

市が開設する避難所以外の避難先の検討を

災害時には断水などによって手指の流水洗浄ができない場合があります。避難所などの密集した環境下では新型コロナウイルスなどの感染リスクが高まります。そのため、自宅で安全が確保できる部屋への避難（自宅避難）や、自宅以外でも親戚や知人宅など市が開設する避難所以外の場所への避難（分散避難）を検討するなど、事前の準備をお願いします。

避難所へ行く前に必ずマスク着用と健康状態の確認を

避難所には水や食料、常備薬、衣類、体温計などを持参し、感染症対策としてマスクを必ず着用してください。避難所へ行く前には必ず検温を行い、健康状態を確認してください。発熱や風邪などの症状がみられる場合には、「帰国者・接触者相談センター」（☎ 25-9809）に相談することも検討してください。

避難所における具体的な感染症対策

避難所における感染症対策として、本市では国の対策などを踏まえ、次の具体的な取り組みを行います。

- ① 避難受付時における避難者の健康状態の確認
- ② 手洗いやせきエチケットなどの基本的対策の徹底
- ③ 十分な換気の実施、スペースの確保
3密に配慮して十分な換気や避難者同士の感染リスクを避け、対人距離を確保（2m）
- ④ 避難所の衛生環境の確保
複数人の手が触れる場所や物品の定期的な消毒
- ⑤ 定期的な避難者の健康管理（体調不良等の確認・把握）
体温計を準備し、定期的な声掛けや体調確認を実施
- ⑥ 発熱やせき等の症状がある人の専用スペースの確保
避難中に発熱等の症状がある人にはマスクを着用させ、できる限り個室や専用スペースを設ける（パーテーションの活用を含む）

☎防災危機管理局 ☎ 24-1111

予防救急シリーズ「熱中症」

熱中症は、室温や気温が高い中での作業や運動によって、体の水分や塩分などのバランスが崩れ、体温の調整機能が働かなくなり、めまいなどさまざまな症状を引き起こす病気です。ことしの夏は、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」によって、これまでとは異なる生活環境となります。熱中症の予防法を知り、例年以上に熱中症に気を付けましょう。

症状と対策

- （軽度）めまい、たちくらみ など
⇒涼しい場所に移動し、衣服をゆるめ、体を冷やしましょう。水分や塩分を補給しましょう
- （中度）頭痛、吐き気、倦怠感 など
⇒軽度の対応に加え、脇の下や首などを冷やしましょう。自分で水分が摂取できないときは救急車を呼びましょう
- （重度）けいれん、意識障害 など
⇒救急車を呼びましょう

発生しやすい条件

- ・気温と湿度が高いとき
- ・日差しや照り返しが強く、風が弱いとき
- ・運動や作業に夢中になり、高温環境が長く続くとき

予防方法

- ・外出時には帽子を着用し、日陰など涼しい場所でこまめに休憩しましょう
- ・室内では扇風機やエアコンを使い温度調整しましょう
- ・通気性・速乾性のある涼しい衣服を着用しましょう

- ・喉が渇いたと感じる前に水分を取り、こまめな水分補給を心掛けましょう
- ・めまいや頭痛、気分不良などがあれば、日陰や涼しい場所に避難しましょう

上手な水分補給を

飲み物の適温は体内への吸収率と冷却効果から5～15℃が適しています。利尿作用があるカフェインを含む飲み物や、水分の吸収率が悪い糖分を含むジュースなどではなく、水や麦茶で水分補給しましょう。また、運動するときや大量に汗をかくときは、スポーツ飲料で水分補給しましょう。

※病院のお問い合わせは「☎ 23-8199（兄さんハイ救急）」をご利用ください。

※小児救急は長崎県小児救急電話相談センター「#8000」や「☎ 095-822-3308」にお問い合わせください（午後6時から翌朝8時まで）。

☎消防局警防課 ☎ 23-2598

☎健康づくり課 ☎ 24-1111

新日本無線株式会社と立地協定を締結

5月27日（水）、本市は半導体・電子デバイス製品の設計・製造大手で日清紡グループの「新日本無線株式会社」（資本金：52億2千万円、従業員数：1,352人）と長崎県との間で、同社製品の設計・開発を行う「長崎テクニカルセンター」の立地協定を締結しました。同社の森田代表取締役社長は「佐世保市周辺に居住する専門性の高い優秀な人材を確保できることが期待でき、行政の企業立地支援が積極的に行われていることなどから、新たな開発拠点として進出することを決めました」と本市に立地を決めた理由を述べました。また、朝長市長も「今回の立地が雇用の場を創出するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大によって大きな影響を受けている本市経済の回復の兆しとして、市民の皆さんにお伝えすることができ、大変喜ばしく思います」と述べました。同社では工業系の学生を中心に、中途採用を含め5年間で23人を雇用する予定です。



協定書を手にする朝長市長と森田代表取締役社長（右）（6月10日撮影）

新日本無線株式会社 長崎テクニカルセンター

IC（半導体集積回路）と電子デバイス製品の検査のための回路設計、基盤設計、ソフトウェアの開発などを行います。

立地場所 三浦町 2-1（アルファビル内）

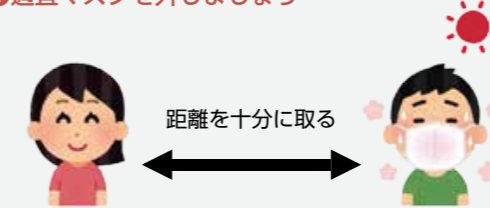
操業開始 来年4月1日（予定）

雇用計画 23人（5年間）

☎企業立地推進局 ☎ 24-1111

「新しい生活様式」での熱中症予防ポイント

① 適宜マスクを外しましょう



- ・気温や湿度が高い中でのマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できる場合には、マスクを外す
- ・マスクを着用しているときは、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で適宜マスクを外して休憩する

② 日頃から健康管理をしましょう

- ・日頃から体温測定、健康チェックをする
- ・体調が悪く感じたときは、無理せず自宅で療養する

③ 暑さに備えた体作りをしましょう

- ・暑くなり始めの時期から適度に運動する
- ・水分補給は忘れずに、無理のない範囲で行う
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度の運動を毎日30分程度行う

☎健康づくり課 ☎ 24-1111